

まきばドームの改修に利用者の声を反映させよ



新橋 実 議員
動画視聴

問 ドームの風対策に1000万円近くの予算をかけてネットを設置しているが、風よけになっていないといった声が多い。市民の声を聞いてしっかりとした対応をすべきだがどうか。

答 ドームの防風ネットは、遮へい率65%のものを採用している。現地調査も実施したが、今後どういった方策があるのか



まきばドームの防風ネット

新生児期からの子育て支援



山口 仁美 議員
動画視聴

問 新生児訪問指導を適切な時期に実施するためにも、はがき郵送料を市負担にできないか。

答 本市では平成28年度において、実際のはがきの返送は58・2%、うち46%は、期間内に訪問している。支援を要すると思われる方を除く未返送分については、全数把握できていない状況である。新生児訪問指導は、産婦が連絡しやすい環境を整えて、より適切なタイミングで実施することが重要であると考えており、郵送料の市負担や、新たに電子メール等による受付も導入できないか検討していく。

検討していきたい。

救急医療体制の充実のため、救急病院を誘致する考えはないか

問 霧島市は二次医療圏内であるが、県知事によって特別に認可された救急医療における特例診療所、救急告示医療機関である救急病院を誘致する考えはないか。

答 県は、二次医療圏の既存病床数が基準を超えており、新たな病床は原則として設置できないとしている。特例で一般病床の設置が認められており、必要に応じて関係機関の意見を伺いながら医療審議会の審査を経て、その必要性を慎重に検討すべきものとしている。

その他の質問

・農業政策の中で、市は農家に対して今後どのような施策を持って対応していくのか

観光行政について



木野田 誠 議員
動画視聴

問 市長は観光行政をどのように捉えているか。

答 観光産業は、様々な分野へ経済効果がある。

問 市長は観光行政をどのように捉えているか。

答 観光協会の自然保護協議会、多くの団体が自然保護活動の一環として清掃活動を行っている。今後も会員を増やし観光地の美化に努めていく。

問 前市長は、未整備地域の対応策を必ず出すと明言した。市長の整備促進に対する姿勢を問う。

答 超高速ブロードバンドの整備は喫緊の課題である。地域産業を支える基盤として、整備を促進していきたい。

その他の質問

・新燃岳の降灰対策について

クットの推進を図ってきたい。

問 観光地の道路の美化をどう考えているのか。

答 観光協会や自然保護協議会、多くの団体が自然保護活動の一環として清掃活動を行っている。今後も会員を増やし観光地の美化に努めていく。

問 前市長は、未整備地域の対応策を必ず出すと明言した。市長の整備促進に対する姿勢を問う。

答 超高速ブロードバンドの整備は喫緊の課題である。地域産業を支える基盤として、整備を促進していきたい。

その他の質問

・新燃岳の降灰対策について

「男女共同参画の推進」の本市の課題と今後の展望について問う



鈴木 てるみ 議員
動画視聴

問 平成28年度に実施された「男女共同参画に関する市民意識調査」の分析結果を受けて、施策の成果と課題を示せ。

答 市民意識調査を実施し、施策の成果指標等を踏まえ分析を行っている。その中でも、社会通念、職場などの分野において、依然として不平等感が根強く残っており、女性の社会進出が伸びない理由として、「男性中心の組織運営」や「固定的な性別役割分担意識」が挙げられる。また、DVは許されない行為であるとの認識が浸透してきており、どこにも相談し

新燃岳噴火被害と今後の対応



平原 志保 議員
動画視聴

問 10月の新燃岳噴火から2か月、関係団体から国や市に対し、噴火に伴う要望書が出された。その後の用水路への影響について問う。

答 霧島川から取水している田口用水路では、約1kmの区間に火山灰が最大50cmほど堆積し、ほ場へ流入することによる耕作への影響が懸念されている。灰の除去は、国や県と協議し、県の補助事業が導入できることになった。除去後は管理が簡易な場所に土砂溜を設置する。また、新燃岳火口から約5kmにある霧島川の用水取水口までは道路幅員が狭く、落石等の恐れがある。噴火の際に

緊急な対応が困難なため、遠隔操作が可能な取水施設の設置を検討していく。

問 全天候型こども館以外の環境整備と全天候型こども館の設置について問う。

答 こども館以外の環境整備の取組は、引き続き教育・保育施設、放課後児童クラブ、地域子育て支援センター等の施設整備を推進する。こども館については、雨天時でも親子で遊べる施設で、活用されていない公共施設の活用や地域活性化の観点も踏まえ総合的に検討する。

問 国分中央高校生との「議員と語るかい」で、20年を経過している農機具等の更新や農場の排水対策の要望が出された。その後、担当委員会現地調査を行い執行部へ5つの提言をしたが、新年度予算算へどのように反映させるのか。また、トイレ改修は検討したか。

答 平成30年度当初予算で、野菜や草花用温室等の修繕や管理機の購入に要する経費の計上を検討している。排水対策については、県に対し浚渫の要望を行い、8月に終了した。トイレ改修は、計画的に取り組んでいく。

その他の質問

・旧市町ごとの特性を生かしたエリア活性化企画の考え方について

中山間地域の活性化を図れ



下深迫 孝二 議員
動画視聴

問 中山間地域の人口減少に対し、どのような対策を行っているか。また、ふれあいバス運行はどのように検証しているか。

答 子育て支援センターや放課後児童クラブ運営による子育てしやすい環境づくり、ふるさと再生集落への集落支援員の設置、ボランティア団体の派遣など様々な施策に取り組んでいる。ふれあいバスについては、平成29年10月から大幅な見直しを行い運行している。

問 中山間地域には簡易水道が多く、高齢化に伴い管理運営が困難になりつつあるが考えを問う。

答 施設の老朽化等で管理運営の困難が想定される。今後は、関係各課と連携を図っていく。

国分中央高校について

問 国分中央高校生との「議員と語るかい」で、20年を経過している農機具等の更新や農場の排水対策の要望が出された。その後、担当委員会現地調査を行い執行部へ5つの提言をしたが、新年度予算算へどのように反映させるのか。また、トイレ改修は検討したか。

答 平成30年度当初予算で、野菜や草花用温室等の修繕や管理機の購入に要する経費の計上を検討している。排水対策については、県に対し浚渫の要望を行い、8月に終了した。トイレ改修は、計画的に取り組んでいく。

問 中山間地域には簡易水道が多く、高齢化に伴い管理運営が困難になりつつあるが考えを問う。

答 施設の老朽化等で管理運営の困難が想定される。今後は、関係各課と連携を図っていく。

その他の質問

・水害対策について